

寄 せ 蛾 記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchyu Danwakai

目 次

並木 彬雄	： 埼玉県のヤガ科 (IV)	・ ・ ・ ・ ・	358
松井英子・松井安俊	： ヒメアカタテハの移動調査にご協力を		367
松井 英子	： 草加市におけるヤマトシジミの越冬	・ ・ ・ ・ ・	368
小堀 文彦	： 上尾市でトラフシジミを採集	・ ・ ・ ・ ・	371
———	： 上尾市でミスジチョウを採集	・ ・ ・ ・ ・	371
———	： 上尾市で再びテングチョウを採集	・ ・ ・ ・ ・	372
石塚 勝己	： ルリモンクチバの昼間における吸蜜例	・ ・ ・ ・ ・	372
神部 正博	： 草加市でムラサキシジミを採集	・ ・ ・ ・ ・	373
竹内 崇夫	： 近況報告 (2)	・ ・ ・ ・ ・	374
萩島 和美	： 与野市にてミヤマカラスアゲハを採集	・ ・ ・ ・ ・	374
碓井徹・亀井義弘・寿原淑郎	： 奥武蔵と秩父北部での5月の蝶		375
竹内 崇夫	： 川口市のミドリシジミ	・ ・ ・ ・ ・	377
市川和夫・碓井徹	： 埼玉県蝶類分布図の作成について	・ ・ ・ ・ ・	378
蝶類分布図係	： ウスバシロチョウの記録	・ ・ ・ ・ ・	380
	・ 春の談話会、開かれる	・ ・ ・ ・ ・	383
	・ 訂正 / 件	・ ・ ・ ・ ・	386
	・ 金曜セミナーのお知らせ	・ ・ ・ ・ ・	387
	・ 金曜セミナーの報告	・ ・ ・ ・ ・	389
	・ 第2回宿泊談話会 (お知らせ)	・ ・ ・ ・ ・	390
	・ 会報	・ ・ ・ ・ ・	391

埼 玉 県 の ヤ ガ 科 (IV)

並 木 彬 雄

前回に続きましてフサヤガ亜科カラスヨトウ亜科を手元のデータ及び採集品を中心として記録しておく。和名の後につけた※印は埼玉県末記録種を示す。

.....

フサヤガ亜科 Euteliinae

1. フサモクメ *Eutelis gèyeri* C.et R.FELDER

川口市、浦和市、大宮市、顔振峠、大輪、三峰山、大洞川上流、三国峠で、4月上旬より5月上旬、7月上～下旬、9月上旬より//月上旬の記録が有る。

2. コフサヤガ *E. blandiatrix* GUENÉE

川口市、浦和市、大輪、三峰山で、7月上旬より//月上旬までの記録が有る。

3. ニッコウフサモクメ *E. grabczewskii* PÜNGELER

三峰山 (/ ♂ 2-V-1965)

4. ノコバフサモクメ *Mimanuga japonica* LEECH

大輪、栃本、大滝村落合、三峰山で、7月上旬、9月中旬より//月上旬までの記録が有る。

カラスヨトウ亜科 Amphipyrinae

1. アカモクメヨトウ *Apamea oriens* WARREN

寄居町、定峰峠、志賀坂峠、栃本、三峰山、大洞川上流、三国峠で、6月上旬より9月中旬までの記録が有る。

2. チャイロカドモンヨトウ *A. sodalis* BUTLER

鳩ヶ谷市 (1 ♂ 1-X-1958 有藤 寛一郎)、宝登山、定峰峠、志賀坂峠、栃本、三峰山、三国峠で、6月上旬より9月中旬までの記録が有る

3. カドモンヨトウ *A. crenata* HUFNAGEL

三国峠 (1 ♂ 8-VI-1975, 2 ♂ 9-VII-1972, 1 ♂ 15-VIII-1971)

4. スジアカヨトウ *A. striata* HARUTA

三峰山 (1 ♂ 14-IX-1969)、三国峠 (2 ♂ 15-VIII-1971, 1 ♂ 16-VIII-1974)

5. オオアカヨトウ *A. lateritia* HUFNAGEL

正丸峠 (1 ♂ 17-VIII-1969)、三峰山 (1 ex. 6-IX-1964)、大洞川上流 (3 ♂ 14-VIII-1972)、三国峠 (2 ♂ 9-VII-1972, 1 ♂ 3-VIII-1975, 1 ♂ 15-VIII-1971, 1 ♂ 16-VIII-1974)

6. ネスジシラクモヨトウ *A. hamponi* SUGI
川口市、浦和市、大宮市、三峰山、大洞川上流で、5月上旬より7月上旬までの記録が有る。
7. アオフシラクモヨトウ ^{*}*A. conciliata* BUTLER
川口市 (1♂ 23-V-1970, 1♀ 17-VI-1972)、浦和市 (1♂ 10-V-1969)
8. コマエアカシロヨトウ *A. askoldis* OBERTHÜR
定峰峠 (1♂ 20-VI-1971)、栃本、三峰山、大洞川上流、三国峠で、5月中旬より10月上旬までの記録が有る。
9. マエアカシロヨトウ *A. kawadai* SUGI
大宮市 (1ex. 30-VI-1972 桜井 茂)、栃本 (1♂ 6-IX-1970)、三国峠 (1♂ 16-VIII-1974, 1♀ 7-IX-1975)
10. ヒメカバマダラヨトウ *A. cuneata* LEECH
浦和市 (2♂ ?-VII-1967, 3♂ 19-VII-1969)、三国峠 (1♂ 1♀ 7-IX-1975)
11. ヒメハガタヨトウ *A. commixta* BUTLER
浦和市 (動物誌)
12. ホシミミヨトウ *Mesapamea concinnata* HEINICKE
栃本 (1♂ 6-IX-1970)、三峰山 (1♀ 7-VI-1964, 1♂ 6-IX-1964)
13. クロピロウドヨトウ *Sidemia bremeri* ERSCHOFF
三国峠 (1♂ 7-IX-1975)
14. ミヤマチャイロヨトウ *Luperina hedeni* GRAESER
三国峠 (1♂ 9-VII-1972, 1♂ 3-VIII-1975, 2♂ 16-VIII-1974)
15. ベニモンヨトウ *Procus vulnerata* BUTLER
川口市、浦和市、鳩ヶ谷市、寄居町で、4月上旬より9月中旬までの記録が有る。
16. クサビヨトウ *P. ophiogramma* ESPER
川口市 (2♂ 16-VI-1972)、浦和市野田 (1♂ 10-VI-1972)、所沢市 (1♂ 20-VI-1970)
17. コモクメヨトウ *Actinotia intermedia* BREMER
川口市戸塚 (1♂ 28-IV-1968 若菜 洋一)、栃本 (1♂ 6-IX-1970)、三峰山 (1♂ 14-IX-1969)、三国峠 (2♂ 3♀ 7-IX-1975)
18. ヒメモクメヨトウ *A. polyodon* LEECH
三国峠 (1♂ 2♀ 15-VIII-1971, 3♂ 1♀ 16-VIII-1974)
19. クロモクメヨトウ *Drpterygia caliginosa* WALKER
中双里 (1♂ 21-V-1972)

20. コクロモクメヨトウ *D. japonica* LEECH
 顔振峠 (3♂ 3-V-1970 鶴巻 照夫)、志賀坂峠 (1♂ 26-V-1974)、三峰山 (2♂ 10-V-1964, 1♂ 7-VI-1964)
21. ウスクロモクメヨトウ *D. cupreotincta* SUGI
 寄居町、定峰峠、宝登山、三峰山、大洞川上流で、6月上旬より7月上旬までの記録が有る。
22. シラホシキシタヨトウ *Triphaenopsis lucille* BUTLER
 浦和市、定峰峠、志賀坂峠、三峰山、三国峠で、7月下旬より9月中旬までの記録が有る。
23. ウスキシタヨトウ *T. cinerescens* BUTLER
 三峰山、三国峠で、6月上旬より9月中旬までの記録が有る。
24. ナカシロキシタヨトウ *T. postflava* LEECH
 三峰山 (1♂ 6-IX-1964)
25. ハジマヨトウ *Bambusiphia vnlgaris* BUTLER
 浦和市 (1♂ 13-VIII-1966 大島 進一)、大洞川上流 (1♂ 21-VII-1974, 3♂ 14-VIII-1972)、三国峠 (1♀ 7-IX-1975)
26. ヨスジアカヨトウ *Pygopteryx suava* STAUDINGER
 大滝村落合 (1♀ 19-IX-1971)、栃本 (1♀ 6-IX-1970)、三峰山 (1♂ 14-IX-1969)、三国峠 (5♂ 2♀ 7-IX-1975)
27. フキヨトウ *Hydraecia amurensis* STAUDINGER
 栃本 (1♂ 4-X-1970)、三峰山 (1♀ 17-VIII-1969)、三国峠 (1♂ 15-VIII-1971, 1♂ 16-VIII-1974, 1♀ 7-IX-1975, 3♂ 2♀ 19-IX-1971)
28. ショウブヨトウ *Amphipoea ussuriensis* PETERSEN
 定峰峠 (2♂ 1♀ 18-VI-1971)、大洞川上流 (1♂ 14-VIII-1972)
29. タカネショウブヨトウ *A. asiatica* BURROWS
 三国峠 (2♀ 15-VIII-1971)
30. ショウブオオヨトウ *Helotropha leucostigma laeris* BUTLER
 川口市 (2♂ 23-VI-1973, 1♂ 29-VI-1973 大島 進一)、三国峠 (1♀ 16-VIII-1974)
31. ヒメトガリヨトウ *Gortyna basalipunctata* GRAESER
 志賀坂峠 (1♂ 15-IX-1974)
32. ゴボウトガリヨトウ *G. fortis* BUTLER
 川口市、鳩ヶ谷市、定峰峠、志賀坂峠、宝登山、大滝村落合、三峰山、三国峠で、9月中旬より10月下旬までの記録が有る。
33. テンオビヨトウ *Nonagria turpis* BUTLER
 川口市、浦和市、所沢市、寄居町、定峰峠、大洞川上流で、5月下旬より7月下旬までの記録が有る。

34. イネヨトウ *Sesamia inferens* WALKER
川口市、大宮市、所沢市、顔振峠、定峰峠、大洞川上流で、5月上旬より7月中旬までの記録が有る。
35. キスジウスキヨトウ *Archanara sparganii* ESPER
北川辺村 (1♂ 22-V-1977)
36. ガマヨトウ ※ *A. oerata* BUTLER
川口市戸塚 (1♂ 7-VII-1973)、浦和市田島 (1♂ 28-VIII-1974)
37. カバイロウスキヨトウ *Epipsammia* sp.
北川辺村 (1♂ 25-VII-1976)
38. オオチャバネヨトウ ※ *Nonagria püngeleri* SCHAWERDA
川口市柳崎 (1♀ 23-VI-1973)
39. サッポロチャイロヨトウ *Luperina sapporensis* MATSUMURA
三国峠 (1♀ 3-VIII-1975, 1♂1♀ 15-VIII-1971)
40. シロマダラヒメヨトウ *Iambia japonica* SUGI
定峰峠 (1♂ 18-VII-1971)、志賀坂峠 (1♂ 1-VIII-1973)、
栃本 (1♂ 6-IX-1960)、大輪 (1♂ 14-IX-1969)、三峰山
(1♂ 14-IX-1969)
41. アミメヒメヨトウ *I. transversa* MOORE
仏子 (動物誌)
42. キグチヨトウ *Phlogophora beatrix* BUTLER
志賀坂峠 (1♂ 1-VII-1973)、三峰山 (3♂1♀ 14-VI-1969)、
大洞川上流 (1♀ 23-VI-1974)、三国峠 (1♂1♀ 9-VII-1972)
43. アカガネヨトウ *Euplexia lucipara exotica* STRAND
川口市、大宮市、顔振峠、宝登山、志賀坂峠、三峰山、三国峠で、5月上旬より8月中旬までの記録が有る。
44. ムラサキアカガネヨトウ *Euplexia* sp.
三国峠 (1♂ 15-VIII-1978)
45. シラオピアアカガネヨトウ *E. illustrata* GRAESER
三峰山 (1♂ 14-VI-1969, 1♂ 5-VII-1964)
46. モンキアカガネヨトウ *E. aureopuncta* HAMPSON
三峰山 (動物誌)
47. シロモンアカガネヨトウ *E. splendida* SUGI
三国峠 (2♂ 11-V-1975)
48. コゴマヨトウ *E. bella* BUTLER
志賀坂峠 (1♂ 5-IX-1974)

49. シロスジアオヨトウ *Trachea atriplicis gnoma* BUTLER
川口市、浦和市、定峰峠、志賀坂峠、栃本、三峰山、三国峠で、5月上旬より10月上旬までの記録が有る。
50. オオシロテンアオヨトウ *T. auriplena lucia* BUTLER
三峰山 (1♀ 5-VII-1964)
51. ヒメシロテンアオヨトウ *T. melanospila* KOLLAR
三国峠 (1♂ 16-VIII-1974)
52. ハガタアオヨトウ *T. tokiensis* BUTLER
川口市、志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠で、5月下旬より7月上旬の記録が有る。
53. アオアカガネヨトウ *Karana laetevirens* OBERTHUR
栃本 (2♂ 6-IX-1970)、大洞川上流 (1♂ 14-VIII-1972)、三国峠 (1♂ 15-VIII-1971)
54. シロフアオヨトウ *Xenotrachea albidisca* MOORE
三峰山 (1♂ 12-V-1963)、大洞川上流 (1♂ 23-VI-1974, 1♂ 14-VIII-1972)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972, 3♂ 15-VIII-1971)
55. ギンギンヨトウ *Atrachea nitens* BUTLER
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、所沢市、志賀坂峠で、5月下旬より7月上旬までの記録が有る。
56. マエホシヨトウ *A. sordida* BUTLER
川口市、鳩ヶ谷市、栃本、三峰山で、9月中旬の記録が有る。
57. モクメヨトウ *Axylia putris* LINNE
川口市、浦和市、大宮市、所沢市、顔振峠、志賀坂峠、三峰山で、5月上旬より6月下旬及び9月上旬の記録が有る。
58. ハスモンヨトウ *Prodenilitura* FABRICIUS
川口市、浦和市、大宮市、志賀坂峠、大輪、栃本、三峰山で、8月中旬より10月上旬までの記録が有る。
59. シロナヨトウ[※] *Spodoptera mauritia* BOISDUVAL
浦和市田島 (1♂ 25-VIII-1974)
60. スジキリヨトウ *Rusidrina depravata* BUTLER
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、栃本、志賀坂峠で、3月下旬より5月中旬及び7月中旬より9月上旬までの記録が有る。
61. シマヨトウ *Telesilla arcta* LEDERER
定峰峠、宝登山、三峰山、大洞川上流で、6月下旬より9月上旬までの記録が有る。
62. ネグロヨトウ *Chytonix albonotata* STAUDINGER
所沢市、寄居町、定峰峠、宝登山、志賀坂峠、三峰山、大洞川上流で、6月上旬より8月下旬までの記録が有る。

63. ホソバネグロヨトウ *C. subalbonotata* SUGI
 三国峠 (2♂ 8-VI-1975)
64. チャオビヨトウ *C. segregata* BUTLER
 川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、所沢市、寄居町、三峰山で、5月中旬より8月上旬までの記録が有る。
65. コシラクモヨトウ *C. fodinae* OBERTHÜR
 三峰山 (1♀ 6-IX-1964)、三国峠 (1♂ 3-VIII-1975, 1♂ 15-VIII-1971)
66. カラスヨトウ *Amphipyra livida corvina* MOTSCHUSKY
 川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、大輪、三峰山、三国峠で、6月下旬より7月上旬までの記録が有る。
67. シロスジカラスヨトウ *A. tripartita* BUTLER
 志賀坂峠 (5♂ 15-IX-1974)、栃本 (2♂ 6-IX-1970)、三峰山 (3♂ 14-IX-1969)
68. オオウスズマカラスヨトウ *A. erebina* BUTLER
 三国峠 (1♂ 3-VIII-1975, 1♂ 16-VIII-1974)
69. ツマジロカラスヨトウ *A. schrenckii* MÉNÉTRIÉS
 白岩小屋、三峰山、雁坂小屋 (動物誌)
70. シマカラスヨトウ *A. pyramides obscura* OBERTHÜR
 川口市、三峰山、大洞川上流、三国峠で、6月上旬および8月上旬より9月中旬までの記録が有る。
71. オオシマカラスヨトウ *A. monolitha surnia* FELDER
 鳩ヶ谷市、大宮市、三峰山で、7月上旬および8月中旬より9月下旬までの記録が有る。
72. モクメカラスヨトウ *Perinaenia accipiter lignosa* BUTLER
 川口市、浦和市、大宮市で、3月下旬より5月下旬までの記録が有る。
73. ハイイロモクメヨトウ *Antha grata* BUTLER
 宝登山 (動物誌)
74. アオバセダカヨトウ *Mormo muscivirens* BUTLER
 浦和市、向平 (動物誌)
75. ノコメセダカヨトウ *Orthogonia sera* C. et R. FELDER
 川口市、浦和市、宝登山、三峰山、大洞川上流で、6月下旬より10月上旬までの記録が有る。
76. ニレキリガ *Cosmia affinis magna* WARREN
 川口市 (1♂ 16-X-1958 有藤 寛一郎)、大宮市 (1 ex. 30-VI-1972 桜井 茂)

77. ミヤマキリガ *C. unicolor* STAUDINGER
秩父市川俣 (1♀ 9-XI-1969)、宝登山 (1♂ 8-X-1972)、志賀坂峠 (2♀ 15-IX-1974)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972, 1♀ 7-IX-1975, 3♂ 19-IX-1971)
78. シラホシキリガ *C. restituta picta* STAUDINGER
栃本 (3♂ 6-IX-1970)、大滝村落合 (1♂ 19-IX-1971)、志賀坂峠 (5♂ 15-IX-1974)
79. シラオビキリガ *C. camptostigma* MENETRIES
川口市 (1♂ 17-VI-1972, 2♂ 24-VI-1970, 2♀ 27-VI-1970) 大宮市 (1 ex. 20-VI-1972 桜井 茂)、栃本 (1♂ 6-IX-1970)
80. ツマグロキリガ *C. apicimacula* SUGI
三国峠 (1♂ 7-IX-1975)
81. シマキリガ *C. acnatina* BUTLER
川口市 (1♀ 20-VI-1965, 4♂ 23-VI-1973, 2♂ 3♀ 27-VI-1970) 大宮市 (1♀ 30-VI-1972, 1♂ 2-VII-1972 いずれも 桜井 茂)、志賀坂峠 (1♂ 1-VII-1973)
82. イタヤキリガ *C. exigua* BUTLER
栃本 (1♀ 4-X-1970)、志賀坂峠 (1♀ 15-IX-1974)、三峰山 (2♂ 17-VIII-1969)、三国峠 (多数 8月中旬~9月中旬)
83. ナシキリガ *C. pyralina* DENIS et SCHIFFERMÜLLER
三峰山 (4♂ 17-VIII-1969)
84. ヒイロキリガ *C. sanguinea* SUGI
志賀坂峠 (2♂ 26-VIII-1973)、三国峠 (2♂ 19-IX-1971)
85. マダラキボシキリガ *C. variegata* OBERTHÜR
定峰峠 (1♂ 18-VII-1971)、三峰山 (1♂ 17-VIII-1969)、三国峠 (多数 8月上旬~9月中旬)
86. フタスジキリガ[※] *Enargia flavata* WILEMAN et WEST
大洞川上流 (1♂ 23-VI-1974)
87. ウスシタキリガ[※] *E. paleacea* ESPEY
三国峠 (2♂ 3-VIII-1975, 2♂ 7-IX-1975, 1♂ 19-IX-1971)
88. ギンモンアカヨトウ *Plusilla rosalia* STAUDINGER
川口市 (1♂ 21-VII-1973, 1♂ 14-IX-1968, 1♀ ?-IX-1967 大島 進一)、浦和市田島 (1♂ 1♀ 25-VIII-1974)、大宮市 (1 ex. 2-VII-1972 桜井 茂)、岩槻市 (1 ex. ?-IX-1970 鶴巻 照夫)
89. トガリヨトウ *Virgo datanidia* BUTLER
川口市 (1♂ 14-IX-1968)、浦和市 (1♀ 6-IX-1969)、栃本 (1♂ 6-IX-1970)、志賀坂峠 (1♀ 15-IX-1970)

90. シロテングロヨトウ *Perigea cyclica* HAMPSON
 志賀坂峠 (1♂ 26-VIII-1973)、三峰山 (1♀ 5-VII-1964)、
 大洞川上流 (1♂ 23-VI-1974)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972)
91. キクビヒメヨトウ *Prometopus flavicollis* LEECH
 三峰山 (2♂ 5-VII-1964)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972, 1ex. 3-VIII-1975)
92. フタテンヒメヨトウ *Hadjina biguttula* MOTSCHULSKY
 川口市、浦和市、大宮市、所沢市、定峰峠、志賀坂峠、三峰山で、5月
 中旬より6月下旬までと、9月上旬の記録が有る。
93. シロイチモンジヨトウ *Laphygma exigua* HÜBNER
 浦和市 (動物誌)
94. モンオビヒメヨトウ *Dysmilichia gemella* LEECH
 志賀坂峠 (1♀ 26-VIII-1973)
95. シロモンオビヨトウ *Dadica lineosa* MOORE
 大宮市、寄居町、定峰峠、志賀坂峠、三峰山で、5月下旬より7月中旬
 までの記録が有る。
96. シロテングスグロヨトウ *D. albisingnata* OBERTHÜR
 川口市、栃本、志賀坂峠、大洞川上流、三国峠で、6月下旬より9月上
 旬までの記録が有る。
97. ヒメサビスジヨトウ *Atetis truneipennis* HAMPSON
 川口市、浦和市、大宮市、定峰峠、宝登山、大輪、三峰山で、5月上旬
 より//月上旬までの記録が有る。
98. ヒメオビウスイロヨトウ *A. gluteosa* TREITSCHKE
 三峰山 (動物誌)
99. ウスグロヨトウ *A. funesta* STAUDINGER
 川口市、浦和市、顔振峠、定峰峠、大輪、三峰山、大洞川上流で、4月
 中旬より7月下旬まで記録されているが、平地で採集した標本の再同定
 が必要と思われます。
100. ヒメウスグロヨトウ *A. lapidea* WILEMAN
 岩槻市、上中尾 (動物誌)
101. エゾウスイロヨトウ *A. subargentea* CARADJA
 浦和市、大宮市、向平、宝登山 (動物誌)
102. テンウスイロヨトウ *A. dissimilis* HAMPSON
 川口市、浦和市、三峰山で、4月中旬より5月中旬および8月中下旬の
 記録が有る。
103. クロテンヨトウ *A. cinerascens* MOTSCHULSKY
 川口市 (1♀ 5-V-1969)

Athetis属は、多数の標本があるが未同定です。これから同定が済めば、かなりの種類が増えると思われます。いずれの地にも多く、同じような形、斑をしておりますが、こういう仲間を調査しなければ、全体の種が増えないと思ひます。

104. ムラサキツマキリヨトウ *Callopietria juvenina obscura* BUTLER
定峰峠、志賀坂峠、宝登山、三峰山、三国峠で、6月上旬より9月中旬までの記録が有る。
105. シロスジツマキリヨトウ *C. albolineola* GRAESER
川口市 (1♀ 29-VII-1962 内田 博)、栃本、志賀坂峠、三峰山、三国峠で、6月上旬より10月上旬までの記録が有る。
106. アヤナミツマキリヨトウ *C. placodoides* GUENEE
三峰山 (1♂ 4-X-1964)
107. ヒメツマキリヨトウ *C. duplicans rubrivena* WARREN
宝登山 (動物誌)
108. キスジツマキリヨトウ *C. japonibia* STRAND
宝登山 (動物誌)
109. マドラツマキリヨトウ *C. repleta* WALKER
川口市、浦和市、栃本、志賀坂峠、三峰山で、5月下旬より7月上旬および9月上中旬の記録が有る。
110. マルモンシロガ *Sphragifera singlata* MENETRIES
定峰峠、宝登山、三峰山、栃本、三国峠で、6月上旬より9月上旬までの記録が有る。
111. クロスジギンガ[※] *Chasminodes nigrilinea* LEECH
栃本 (1♂1♀ 6-IX-1970)、大洞川上流 (1♂ 14-VIII-1972)
112. クロギンガ *C. atrata* BUTLER
三国峠 (1♂1♀ 15-VIII-1971, 1♂ 16-VIII-1974)
113. ウラギンガ *C. nervosa* BUTLER
三国峠 (1♂ 9-VII-1972, 1♂ 3-VIII-1975, 1♂ 15-VIII-1971)
114. ヒメギンガ *C. unipuncta* SUGI
清滝小屋 (動物誌)
115. クロハナギンガ *C. albonitens* BREMER
大洞川上流 (1♂ 21-VII-1974)
116. ムジギンガ[※] *C. pseudalbonitens* SUGI
栃本 (3♀ 4-X-1970)、三国峠 (1♀ 3-VIII-1975)
117. ハルタギンガ *C. harutai* SUGI
川又、中津川 (動物誌)

以上カラスヨトウ亜科 17 種を記録したが、まだ未採集及び未発表が 20 種以上追加出来るだろう。特に先に書いた *Athetis* 属及び *Chasminodes* 属からは、まだかなり出そうだ。*Chasminodes* 属は、他県（群馬・長野両県）のように多産はしないがぼつぼつと採れ、今後 4~5 種は見い出されよう。また、北川辺村付近の湿地帯をさがせば 3~5 種は増えそうだ。

(〒332 川口市並木元町 5-2)

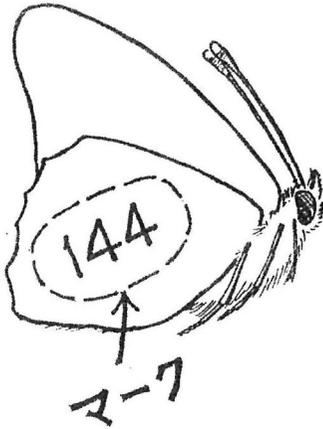
ヒメアカタテハの移動調査にご協力を

松井 英子・松井 安俊

私達はヒメアカタテハの生態を研究中です。

私達の観察地である千葉県北部手賀沼周辺では、本種は主として幼虫で休眠しないで越冬し、春に羽化します。本種の非越冬地への移動状況を調べるために、今春より当地から成虫にマークをして放しています。

マークは図のように右後翅裏面に番号を黒マジックで書いてあります。このようにマークされたヒメアカタテハを採集または目撃された方は、下記の点について筆者までご連絡下されば幸いです。



1. 採集（目撃）日
2. 採集（目撃）地
3. 採集（目撃）個体の番号
4. 採集（目撃）者および連絡先

皆様のご協力をおねがいます。
ご連絡およびお問い合わせ先は下記。

(〒277 柏市根戸 427-5, 北柏第2住宅 3-102 ☎0471-32-4754)

草加市におけるヤマトシジミの越冬

松井英子

・はじめに

ヤマトシジミは草加市ではもっとも普通に見られるチョウである。

草加市における本種の周年発生状況は、神部正博氏¹⁾によれば「4月中旬から連続的に発生を繰り返し、11月上旬から同中旬にはその姿を消す。」とのことで、その終見時および第1化出現時の記録は次のとおりである。

- 26-X-1980 ♂数頭 1♀産卵行動目撃 (神部)
 30-X-1977 1♂採集 (神部)
 11-XI-1977 2♀♀, 1♂採集 (松井)
 12-XI-1977 1♂採集 卵20, 幼虫2 (松井)
 8-IV-1978 1♂目撃 (松井)
 24-IV-1977 1♂目撃 (神部)

さて、本種の越冬態については一般に幼虫とされているが、越冬中の生態観察記録は少ない。

筆者は、1977年12月より1978年3月まで、当時勤務していた当地で、本種の越冬幼虫を観察する機会を得たので報告する。

・観察場所

埼玉県草加市氷川町の草加市立草加中学校校庭で、校舎南に隣接する植込の根元および保健室のエアコンの放熱装置 (冬期は使用していない) の下に生えるカタバミの群落。

・観察結果

観察地での成虫の終見は1977年11月12日であったが、それまでに産卵された卵が順次孵化し、すでに成長していた各令の幼虫とともに越冬に入ったと推定される。

1) 越冬幼虫の令構成変化

発見が困難なため観察できなかった1令幼虫を除いた各令幼虫数の令別百分比をグラフにしたものが図1である。

図1からも各令の幼虫は越冬期間中も成長していることがわかるが、脱皮直後の幼虫は1月27日(4令)、1月30日(3令)、2月7日(4令)、3月20日(4令)の4例観察できた。

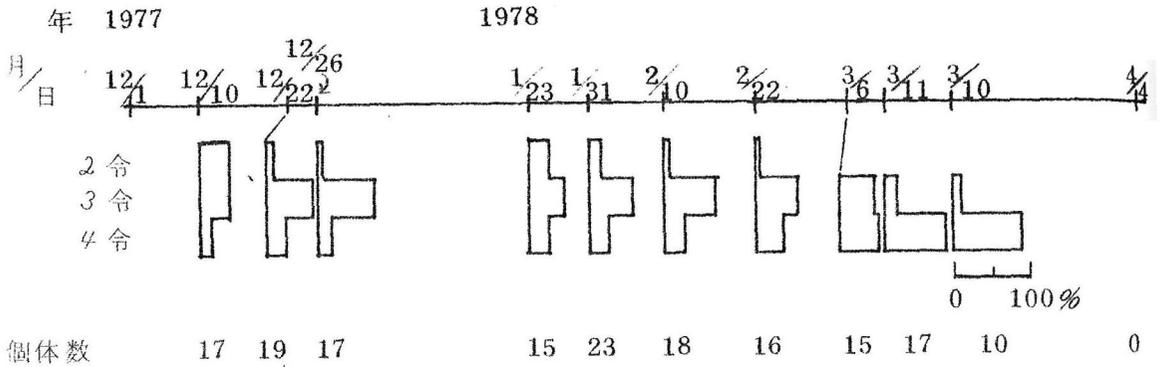


図. 1 ヤマトシジミ越冬幼虫の令構成変化
(条件：天候一晴、時間一//時～/3時)

なお、図1において12月下旬に2令が一時少なくなり、1ヶ月後の1月下旬に再び増加しているのは、この間に新たに1令が成長した結果であると推定される。

3月に入ると2令が見られなくなり、4令の増加が著しく、さらに4月4日には幼虫を1頭も発見できなかった。

2) 越冬中の行動

摂食行動をとっている幼虫数（カタバミを摂食しているものの他、食草上に存る個体も含む）の全観察個体数に対する割合（摂食行動率と仮称）とその時点の地表温度（観察場所・日影の地表に置いた棒状温度計の示度）との関係を図2にまとめた。

地表温度8℃位から摂食行動が見られ、温度が上昇すると摂食行動率も高くなる傾向が推定できる。

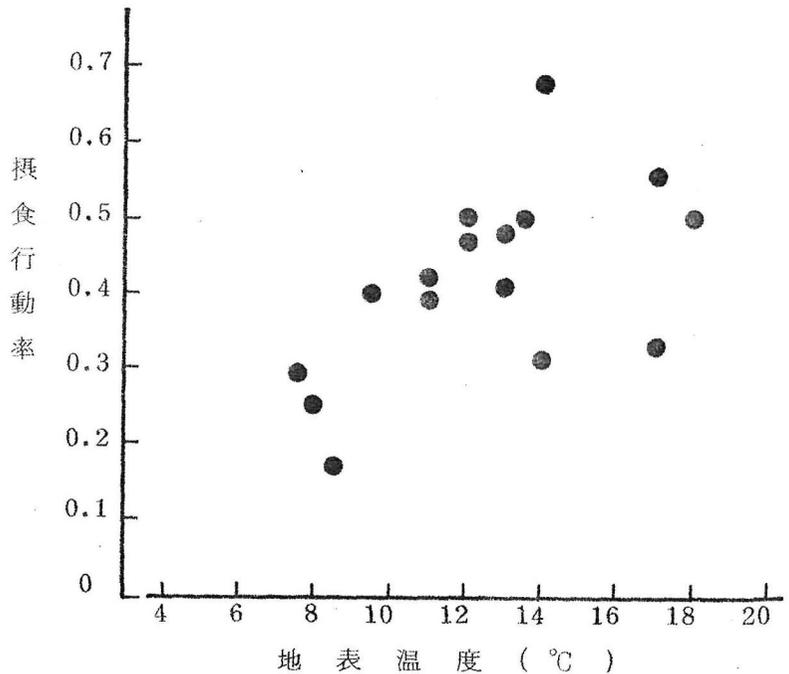


図. 2 ヤマトシジミ越冬幼虫の摂食行動と地表温度
(条件：天候一晴、時間一//時～/3時)

摂食以外の行動では、食草付近の土くれ、小石、枯葉の裏および食草の根際のかげみでの静止、地表の歩行等が観察された。

アリが幼虫にまとい付く例は、12月17日、3月7日～20日に見られた。

2月以降になると、3令および4令幼虫の2割位が、食草付近のキク科植物のロゼット葉裏に静止しているのが見られた。

・まとめ

観察個体数が少いので大まかな傾向しかわからないが、次の点を確認された。

- 1) ヤマトシジミは埼玉県草加市において、11月上旬まで産卵が行われ、12月はじめには各令の幼虫が越冬に入った。
- 2) 幼虫は越冬中もカタバミを摂食し、成長していた。

静岡市における本種の越冬について、鈴木(1966)¹⁾により、同市久能のように温暖な地域では「ほぼ全体による越冬が可能」だが、他の地域では「ほぼ4令幼虫で・・・まったく食を取ることなく」越冬するとされているが、静岡市より寒冷的な埼玉県草加市において、幼虫態で摂食し成長しながら越冬することが確められた。この事実の中に、本種の分布や周年経過を考察するひとつの示唆が含まれていると思われる。

さいごに、貴重な文献をお送りいただいた鈴木芳人氏ならびに草加市における記録をご提供下さった神部正博氏にお礼を申し上げます。

参考資料

- 1) 神部 正博：草加市におけるヤマトシジミ 春、秋の記録(未発表)
- 2) 鈴木 芳人(1966)：ヤマトシジミの季節型決定要因について、
印高生物、静岡県立静岡高等学校生物部、
7、(第2分冊)：1-40

(〒277 柏市根戸427-5 北柏第2住宅3-102)

上尾市でトラフシジミを採集

小堀文彦

上尾市ならびに桶川市では採集例の少ないと思われるトラフシジミを採集、目撃しているので報告する。

1. 1982年4月18日 晴 上尾市中分 / ♀ 新鮮
採集場所は、武蔵野の雑木林の典型といった森にはさまれた水田地帯で、当日は、ツマキチョウ。スジグロチョウ。ツバメシジミ。ギンイチモンジセセリ等が多かった。
2. 1982年5月2日 曇 桶川市下日出谷 / ex. 目撃
自宅の植え込みに飛来。
3. 1982年5月16日 晴 風あり 桶川市下日出谷 / ♂ 小破
枯葉の上に休んでいる個体を採集。

このように得られたのは、異常な現象かも知れないが、採集品の状態、周囲の環境から判断して、土着している可能性が強いと思われる。

(〒363 桶川市下日出谷 1368-5)

上尾市でミスジチョウを採集

小堀文彦

平野部では個体数も少なく、最近では特に激減していると思われるミスジチョウを上尾市で得ているので報告する。

1982年5月30日 上尾市藤波 / ♀ 新鮮, / ex. 目撃

雑木林の梢上で、コムスジと追飛していた個体が、地上から3mくらいの所にあるアワフキムシの泡に止まった。ネットに驚き飛ぶまでの間、およそ2分。少し速かった為、吸汁は確認できず。採集後、はじめにいた梢上で / ex. 目撃。

(〒363 桶川市下日出谷 1368-5)

上尾市で再びテングチョウを採集

小堀文彦

去年(1981年7月26日)¹⁾に引き続いて、今年も上尾市でテングチョウを得ているので報告する。

1982年5月30日 曇 上尾市藤波 / 8 新鮮

採集品は今年の第1化と思われる。去年の状況と考え合わせると、本種は上尾市の一部で世代を重ねているらしいが、今後の調査を待たないと詳しい事は判らない。平地の本種について何か情報をお持ちの方は御連絡を下さい。

参考文献 1) 小堀文彦：上尾市のテングチョウについて、
寄せ蛾記No.33, pp. 294

(〒363 桶川市下日出谷 / 368 - 5)

ルリモンクチバの昼間における吸蜜例

石塚勝己

ヤガ科のシタバガ亜科の多くのものや、シロスジアオヨトウ、オオシマカラスヨトウ、カラスヨトウ、ノコメセダカヨトウ類などの夜間における樹液の吸蜜行動はよく知られている。筆者はシタバガ亜科の1種のルリモンクチバ (*Lacera alope* CRAMER) の昼間における吸蜜行動を観察したのでここに報告しておく。

観察場所：人間市黒須の雑木林内、クヌギの樹幹

日時：1981年8月9日 午後5:00頃

観察した個体は、雌1個体である。口吻を伸ばし、クヌギの樹液を吸っていた。午後遅い時刻だが、日没の大分前で十分明るいときであった。近くで、クロカナブンが頭部を樹幹の穴につっこんでいた。遠くから見たとき、後翅がかなり破損したルリタテハが吸蜜しているのではないかと思った(同地の林内のホトトギスにはルリタテハが寄生している)が、近づいてみるとルリモンクチバであったのに驚かされた。左右の翅をびつたり背面で合わせ、タテハチョウ類と同様な姿勢で止まっていた。

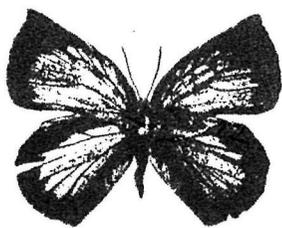
なお、ルリモンクチバは、灯火に飛来するときも、翅を立てて白幕等に止まる。これは日本産の他のシタバガ類には見られない性質で、ルリモンクチバの裏面が美しいことと関係があるようにおもえてならない。

(〒358 人間市黒須ノ-2-4)

草 加 市 で ム ラ サ キ シ ジ ミ を 採 集

神 部 正 博

1980年10月26日、草加市苗塚町においてムラサキシジミ (*Narathura japonica* MURRAY) / ♂ (新鮮) をセイタカアワダチソウで吸蜜中のところを採集したので報告する。



採 集 品

本種はここ数年、埼玉県内では採集されていないようである。なお、採集した標本は筆者が保管している。

本個体の採集地の環境は、宅地造成の為、以前湿地だった所を埋め立て工事を行っている最中で、この一角にまだ小規模であるがわずかなハンノキ林と、この林から少し離れた所にクヌギが一行に十数本とり残され並んでる環境で、今や雑木

林的な面影は全く残っていない。もしこのような環境でもクヌギをたよりに毎年発生しているとすれば、一般に秋季に個体数を増すといわれているので、この時期(9月下旬~11月上旬)に数多く調査を行うことにより今後も各地で記録が得られるかもしれない。しかし今回得られた個体は、どこかから飛来(あるいは移動)して来た単なる迷蝶か、またはこの時期に一時的に発生した個体とも考えられるのではないだろうか。

最後に、翌年の1981年も私の自宅周辺を探したが目撃することはできなかった。

注1. 吉田文作(1981) 寄居町の鱗翅類. 寄居町の自然(動物編) p. 111
に「寄居町の記録はすべて10月である」を参考に、また今回の採集日から個体数を増す時期を私なりに推定してみたものである。

(〒340 草加市西町366-7)

近況報告 (2)

竹内 崇夫

- ・ 昨年12月24日～31日、フィリピン・パラワン島へ採集に行きました。実に快適なホテル「ハイヤットラフオルズ」に泊って、朝、案内人ガブリエルダカシンの愛車トヨタ・タマラオにサンドウィッチ・コーラ、パイヤ等を満載して、イワヒグ刑務所の内の囚人達の働くポイントへ採集に行く毎日。蝶は非常にバライティに富んでいてあきない。特記すべきは、27日にカルナを5♂♀♀ネット・インした事。
- ・ 3月～5月は飼育地獄。ベニモンカラス（南信濃村産）100卵中50ほど成虫に。ヒサマツ、ウラクロ、オオミドリ・・・etc.
- ・ 自宅でギフ・ヒメギフの乱舞は今年も。特に白馬産は27中6頭がイエロー・バンドであった。
- ・ 川口市の浦和寄り、小谷場の丘陵地（小谷場中学校の近く）でクワガタを採っている時、ミズイロオナガノ♀がヒラヒラ落ちて来て採集。1982年5月30日のこと。

(〒333 川口市芝種ノ爪ノ一四一六)

与野市にてミヤマカラスアゲハを採集
萩 島 和 美

1982年5月29日午後2:00頃、与野市田阿弥の雑木林に隣接したジャガイモ畑（市街地）にて、ミヤマカラスアゲハが採集された。低地では稀であると思われるので報告する。

ミヤマカラスアゲハ 1♂（ほとんどスレていないが左後翅破損あり）

採集地：埼玉県与野市田阿弥

採集日：1982年5月29日

採集者：山崎 亜希子（淑徳与野高校生物部、同所保管）

(〒346-01 南埼玉郡菖蒲町小林2952)

奥武蔵と秩父北部での5月の蝶

碓井 徹・亀井 義弘・寿原 淑郎

筆者ら3名は、1982年5月5日に、車を利用して奥武蔵および県北部の群馬県境稜線の付近で蝶の採集を行ったので報告する。

車で東松山から小川町にはいり東秩父村あたりから蝶の姿に注意し始めた。ウスバシロチョウは東秩父村の坂本のあたりで初めて姿を認め、白石車庫までの道沿いにはどこでも見る事ができた。白石のバス停近くでまずネットを振る。

以下は3人による採集リスト。「目撃」と書いてないものはすべて採集。

また、各記録の中の汚損度記号は、①・・・新鮮個体、◎・・・汚損度中位の個体 ●・・・汚損した個体をそれぞれ表している。

・東秩父村白石 8:30～9:10 晴れ

ウスバシロチョウ	2♂ (①)	碓井 徹
	2♂ (①)	寿原 淑郎
スジグロシロチョウ	1♂ (①)	碓井 徹
	1♂ (◎)	寿原 淑郎
ツマキチョウ	1♀ (①)	碓井 徹
	1♂ (●)	寿原 淑郎
	2♀ / 1♂ (①)	亀井 義弘
トラフシジミ	1♀ (①)	寿原 淑郎
ベニシジミ	2♂ (◎)	寿原 淑郎
ルリシジミ	1♀ (◎)	寿原 淑郎
コムスジ	1♂ (①)	亀井 義弘
ミヤマセセリ	1♂ (●)	碓井 徹

白石車庫を後にして定峰峠を越え、秩父市を抜け小鹿野町から志賀坂峠へ向う。途中、納宮で車を降りて30分ほど採集をする。

・小鹿野町納宮 10:30～11:00 晴れ

ウスバシロチョウ	8♂ (①)	碓井 徹
	3♂ (①)	亀井 義弘
	2♂ (①)	寿原 淑郎
スジグロシロチョウ	2♀ (●◎)	碓井 徹
ツマキチョウ	3♂ (①)	碓井 徹
コムスジ	1♂ (①)	碓井 徹

サカハチチョウ	/ ♀ (①)	碓井 徹
	/ ♀ (①)	寿原 淑郎
テングチョウ	2 ♂ (●)	碓井 徹
ミヤマセセリ	/ ♂ (◎)	亀井 義弘

志賀坂峠では、埼玉県側の稜線直下を西の八丁峠へ向う林道が造られており歩いてこの林道沿いに1Kmほど奥へ行って見たが、切り崩された土砂が環境を悪化させていた。

・志賀坂峠 12:00 ~ 12:40 晴れ

ベニシジミ	/ ♀ (①)	碓井 徹
ヤマキマダラヒカゲ	/ ♂ (①)	亀井 義弘
ミヤマセセリ	/ ♂ (①)	亀井 義弘

志賀坂峠から群馬県にはいり、万場町から土坂峠を越えて再び埼玉県にはいった。土坂峠の埼玉県側にも、西の志賀坂峠と東の太田部峠へ延びる林道が造られており、我々は真新しい林道を太田部峠へ向った。この途中で2度ほど車を降りて採集を行った。この林道途中での採集地は、吉田町土坂峠とする。

・吉田町土坂峠 14:00 ~ 14:20 晴れ

モンキチョウ	2 ♀ (①)	碓井 徹
ミヤマセセリ	2 ♂ (◎)	碓井 徹
	/ ♂ (①)	亀井 義弘
	2 ♂ (◎)	寿原 淑郎

太田部峠では20分ばかりネットを振ったが、明るく開けた荒地にはセイヨウタンポポが咲き、タテハチョウの訪花が目についた。

・吉田町太田部峠 14:40 ~ 15:00 晴れ

モンキチョウ	/ ♂ (①)	亀井 義弘
ベニシジミ	/ ♀ (①)	亀井 義弘
ヤマトシジミ	2 ♂ (①◎)	碓井 徹
ツバメシジミ	2 ♂ (①)	碓井 徹
ルリシジミ	/ ♂ (●)	碓井 徹
キタテハ	2 ♀ (●) 秋型	碓井 徹
アカタテハ	/ ♀ (●)	寿原 淑郎

太田部峠からは山を下り、途中の石間の集落で採集を行った後、帰路についた。

・ 吉田町石間 15:30 ~ 16:00

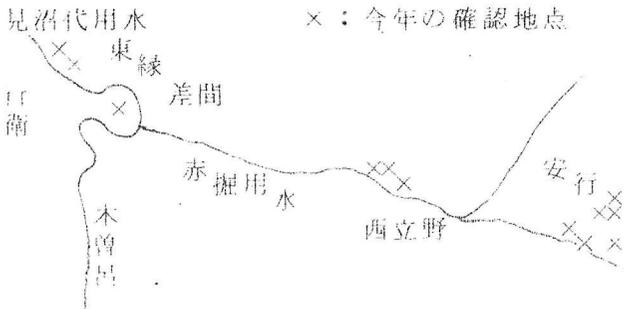
オナガアゲハ	/ ♂ (㊦)	目撃	碓井	徹
スジグロシロチョウ	/ ♂ (㊦)		碓井	徹
	/ ♂ (㊦)		寿原	淑郎
モンシロチョウ	/ ♂ (㊦)		碓井	徹
ヤマトシジミ	/ ♂ (㊦)		碓井	徹
	/ ♂ (㊦)		寿原	淑郎
	/ ♀ (㊦)		亀井	義弘
ルリシジミ	/ ♀ (㊦)		碓井	徹
スギタニルリシジミ	/ ♀ (㊦)		碓井	徹
テングチョウ	/ ♂ (㊦)		碓井	徹
コミスジ	/ ♂ (㊦)		寿原	淑郎
サカハチチョウ	/ ♂ (㊦)		寿原	淑郎

(碓井、〒362 上尾市宅丁目454-3)
 (亀井、〒336 浦和市岸町3-10-11)
 (寿原、〒336 浦和市常盤3-13-23)

川口市のミドリシジミ

竹内 崇夫

ここ数年、安行地区のミドリシジミの分布を幼虫の調査により確認してきたが



× : 今年の確認地点
 用水の支流に産する地区は、宅地化の波にのまれて今年も大分姿を消した。現時点での、本種の見沼代用水から赤掘用水にかけての分布についての小生の見解は次のとおり。

1. 用水本流はペンノキが植えている限り、家が建とうがダムが通ろうが健在。

2. しかし、都市化が進むとダメ。(木曽川では未確認)

今後さらに調査を続ける予定であるが、宅地化は止むを得ないとしても、ペンノキの伐採は何らかの方策を講じて阻止したい。

(〒333 川口市芝植ノ原1-14-16)

埼玉県蝶類分布図の作成について

市川和夫・碓井徹

1. はじめに

3月の談話会と4月の金曜セミナーの席上で出席された方々と相談した結果、県内に産する蝶類の分布図の作成を、本会の仕事として進めて行くことになりました。すでにいくつかの県でこういった仕事が完成しており、本県でも、1978年に発行された「埼玉県動物誌」執筆のための調査に関連して、ここ10年ほどの間に蝶類の採集記録の集積がかなり進んだと考えられるので、このあたりで、分布調査の現状を把握する意味も含めて、県内に産する120余種の蝶について1種ごとの分布図（記録地のプロット図）を、会員の方々のご協力のもとに作成して行きたいと考えます。

2. 分布図作成の方法

- 1) 市川・原(1978)：埼玉県の蝶類(埼玉県動物誌、所収)の末尾にある、県内の蝶に関する240の文献をベースにして、現在までに発表された本県の蝶に関する文献から、各種類ごとの記録をすべて拾い出し、1種類ずつの記録リストを作成する。
- 2) 「寄せ蛾記」誌上で、種を指定して未発表記録の公表や、私信による連絡を呼びかけ、そうして集まった記録を1)の記録リストに加える。
- 3) 以上の手段によって作成された記録リストをもとに、この仕事のために新たに用意した埼玉県白地図（B4版）に記録地をプロットする。

※この時、1960年以前と以後の記録を白丸と黒丸で区別しておこうと考えている。

※白地図のプロットには通常は番号を入れないが、分布域からやや離れた土地での記録や注目すべき記録には、プロットとその記録に同一番号を入れて対応させることを考えている。

3. 分布図発表の方法

- 1) 以上の手順で出来上がった分布図は、縮小して本誌1ページに印刷し、その隣のページに記録リストを印刷する。
- 2) こうして1種類の蝶について見開き2ページを費してプロット図と記録リストを掲載する方法で、本誌に毎号2～4種のペースで連載して行きたい。
- 3) どのような種からこの仕事を進めて行くかは、分類学的な根拠（図鑑の

配列) によるのではなく、特異な分布をする種、会員から要望のあった種などを優先して行くようにし、発表の順については柔軟に考えてゆきたい。

4. そ の 他

- 1) これから本誌に連載してゆくプロット図と記録リストは、「分布調査の現状の確認」という意味あいが強いものであり、記録の空白地域での記録の発表を促して、より完成された分布図を作るための資料と考えている。本誌に発表の空白地域での記録の集積の分布のより正確な把握、という図式によって充実した分布図は、いずれ B4 の大きさのままで「埼玉県蝶類分布図」として、本誌の特別号に仕立てて刊行してゆく予定である。
- 2) 以上のような仕事を会として進めて行くにあたり、記録リストの作成と白地図へのプロットの作業を、本誌への印刷の都合もあって、筆者のひとりである碓井の手許でとりあえず進めて行きたい。
- 3) 本誌への記録リストとプロット図の発表は「蝶類分布図係」という名称で行う。

XX

上記の手順に従って、とりあえずウスバシロチョウについて記録リストとプロット図を作成し、本号に掲載してみました。ただし、時間的な余裕がなく、1960年以後の文献に発表された記録のみを拾い出してみたものです。ここに記録されていない土地（もちろんすでに記録されている所のものでもかまいませんが）でのウスバシロチョウの記録をお持ちの方は、同封の「記録報告用紙」を用いて、蝶類分布図係の碓井までお寄せ下さい。また、「寄せ蛾記」への投稿という形で、それらの記録を発表なさるのも歓迎します。

次号では、次の3種について掲載する予定です。

モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i> BUTLER
ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i> LINNAEUS
ホンチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus</i> MENETRIES

また、その次の38号あたりからゼフィルスを考えていますが、それにこだわらず、ご希望の種類がありましたらリクエストをして下さい。さっそく本誌で記録の発表を呼びかけます。

まずは、ウスバシロチョウと上記3種について、標本箱のラベルや古い野帳

の中に未発表記録が見つかりましたら、たった1記録でも結構ですので9月5日までにご連絡下さい。用紙はできる限り本誌に同封した所定のものをお使い頂きたいのですが、記録数が少ない場合はハガキでもかまいません。

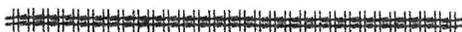
(市川 和夫 : 〒336 浦和市南本町2-7-11)

蝶類分布図係 (碓井 徹 : 〒362 上尾市老丁目454-3)

ウスバシロチョウの記録

蝶類分布図係

プロットNo	記録地	標高(おおよそ)	記録日	個体数等 ×・・・不明	文献への発表の有無 既・・・発表済 未・・・未発表
例	大滝村川又	(700m)	1-VI-1966	2♂(Ⓛ)	原 聖樹 → 既

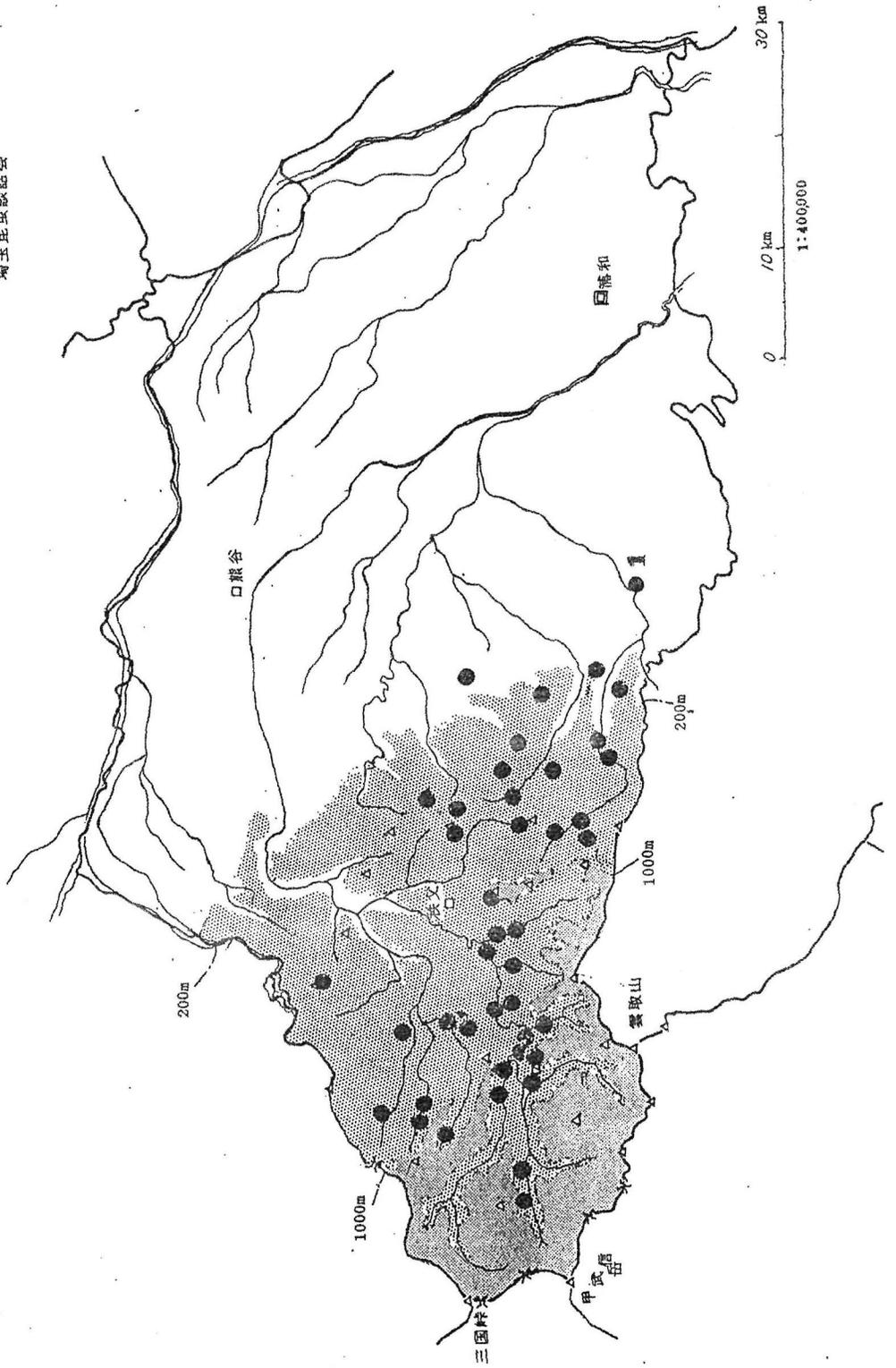


荒川村川浦谷	(350m)	1-V-1966	2♂(Ⓛ)	原 聖樹	既
大滝村三峰山々頂	(1100m)	11-VI-1972	2ex(Ⓞ)	碓井 徹	//
飯能市花桐	(400m)	14-V-1967	×	大木義久	//
—— 矢風	(150m)	9-V-1965	×	——	//
—— 伊豆ヶ岳	(850m)	23-V-1965	1♂(Ⓛ)	斎藤洋一	//
—— 顔振峠	(500m)	13-V-1974	1♂(Ⓛ)	——	//
大滝村三峰山	(1100m)	31-V-1970	×	碓井 徹	//
——	——	30-V-1971	×	——	//
飯能市正丸峠	(650m)	6-V-1973	6♂5♀	吉川、他	//
——	——	13-V-1973	4♂6♀	——	//
名栗村森河原	(250m)	16-V-1976	2exs.目撃	原 聖樹	//
皆野町城峰山	(1050m)	27-V-1973	1♂(Ⓛ)	松本和馬	//
秩父市橋立沢	(350m)	7-V-1975	2exs.目撃	加藤輝年	//
——	——	1-VI-1974	1♀(Ⓞ)	——	//
都畿川村堂平山	(900m)	3-V-1979	1♂(Ⓛ)	碓井 徹	//
両神村白井差	(850m)	5-V-1979	2♂(Ⓛ)	——	//
—— 日向大谷	(650m)	6-V-1979	1♂1♀(Ⓛ)	——	//
—— 出原	(500m)	6-V-1979	3♂(Ⓛ)	——	//
飯能市小床	(300m)	11-V-1979	5♂(Ⓛ)	——	//
大滝村入川	(750m)	3-VI-1979	5♂(ⓁⓄ)	——	//
1 入間市黒須	(90m)	5-V-1981	1♂(Ⓛ)	石塚勝己	//
狭山市	——	1-V-1966	×	久保田	//
飯能市上直竹	(350m)	5-V-1969	5♂	木崎秀尚	//
——	——	11-V-1969	2♂	——	//
——	——	18-V-1969	1♀	——	//
——	——	12-V-1970	2♂	——	//
名栗村名郷	(350m)	7-VI-1976	2♀	宮倉 清	//

飯能市上畑	(100m)	7-V-1976	6 ♂	宮倉 清	既
——	——	10-V-1976	2 ♂1 ♀	——	〃
——	——	11-V-1976	5 ♂	——	〃
——	——	2-V-1978	8 ♂	——	〃
名栗村有間谷	(300m)	10-V-1964	10exs.	小野哲男	〃
——	——	16-V-1965	3exs.	——	〃
飯能市高山不動	(600m)	12-V-1967	12 ♂1 ♀	小島賢司	〃
名栗村有間谷	(300m)	14-V-1967	4 ♂7 ♀	小野哲男	〃
飯能市多峰主山	(250m)	18-V-1967	1ex.	久保 剛	〃
大滝村大輪	(350m)	21-V-1967	1 ♂	小野哲男	〃
荒川村浦山口	(300m)	21-V-1967	2 ♂	——	〃
名栗村有間谷	(300m)	7-V-1968	3 ♂1 ♀	久保 剛	〃
——河又	(250m)	5-V-1969	7 ♂1 ♀	小野哲男	〃
飯能市上直竹	(350m)	5-V-1969	5 ♂	木崎秀尚	〃
——	——	11-V-1969	2 ♂	——	〃
名栗村有間谷	(300m)	11-V-1969	8 ♂2 ♀	久保 剛	〃
——	——	16-V-1969	5 ♂3 ♀	提 松夫	〃
飯能市上直竹	(350m)	18-V-1969	1 ♂	木崎秀尚	〃
——原市場	(150m)	18-V-1969	11 ♂5 ♀	久保 剛	〃
——天覧山	(200m)	20-V-1969	1 ♂	——	〃
名栗村名郷	(350m)	9-V-1970	1 ♂1 ♀	——	〃
都畿川村大野峠	(850m)	7-VI-1970	1 ♂1 ♀	石貝 龍	〃
飯能市久林	(200m)	18-V-1970	10 ♂	小野哲男	〃
名栗村名郷	(350m)	18-V-1970	1 ♂	——	〃
——小殿	(250m)	18-V-1970	2 ♂	——	〃
——河又	(250m)	18-V-1970	1 ♂	——	〃
——有間谷	(300m)	30-V-1970	1 ♂2 ♀	久保 剛	〃
都畿川村大野峠	(850m)	7-VI-1970	×	——	〃
飯能市原市場	(150m)	10-V-1971	8 ♂4 ♀	——	〃
——上赤工	(150m)	7-V-1972	5 ♂2 ♀	提 松夫	〃
——	——	7-V-1972	4 ♂1 ♀	石貝 龍	〃
——久根花	(150m)	7-V-1972	1 ♂	——	〃
——中内	(200m)	7-V-1972	2 ♂1 ♀	提 松夫	〃
——	——	7-V-1972	2 ♂	石貝 龍	〃
——下中沢	(200m)	7-V-1972	4 ♂	——	〃
——	——	7-V-1972	3 ♂2 ♀	提 松夫	〃
——南	(300m)	7-V-1972	1 ♂	——	〃
名栗村有間谷	(300m)	7-V-1972	6 ♂2 ♀	久保 剛	〃
飯能市南	(300m)	7-V-1972	1 ♂	石貝 龍	〃
——原市場	(150m)	8-V-1972	36 ♂7 ♀	小島賢司	〃
横瀬村丸山	(950m)	21-V-1972	1 ♂2 ♀	久保 剛	〃
飯能市上直竹	(350m)	28-IV-1973	2 ♂	木崎秀尚	〃
——	——	6-V-1973	5 ♂1 ♀	——	〃
——下赤工	(150m)	11-V-1973	2exs.	黒田敏明	〃
——原市場	(150m)	11-V-1973	60exs.	——	〃
——	——	13-V-1973	4 ♂	石貝 龍	〃
——	——	13-V-1973	4 ♂2 ♀	久保 剛	〃
——白子	(150m)	5-V-1975	10 ♂2 ♀	内野 孝	〃
——平戸	(150m)	5-V-1975	1 ♂	——	〃
——下平	(150m)	5-V-1975	1 ♂	——	〃
——木久	(150m)	5-V-1975	4 ♂	——	〃

ウズバシロチヨウ

埼玉県昆虫分布資料
埼玉県昆虫談話会



春の談話会、開かれる

本誌No.35でお知らせしたとおり、昨年に引き続いて春の談話会が3月28日の/時より、県立浦和高等学校会議室を会場にお借りして開かれた。19人が集まったところで/時すぎ、会の責任者である市川和夫氏の挨拶で開会し、簡単な会計報告のあと、自己紹介を兼ねて/人/話でひとめぐりをしてから、4名の会員の方々よりスライドや印刷物を混えて興味深い話題が4話提供された。

途中から、2名の方が新たに加わり、会場の一隅には蛾類の標本箱が多数展示され、本誌バック・ナンバーや様々な文献も並べられて今年の談話会は昨年以上に盛り上がりを見せた。まずは/人/話を簡単に紹介して談話会の様子を多少なりともお伝えしたい。ただし、すべて聞き書きなので、それぞれの方々のお話の内容はかなり簡略にしてあるし、言いまわしのニュアンスなども実際と少し異なる点があるところはお許し頂きたい。以下の内容についての責任はすべて筆者にある。(碓井 徹、記)

〔参加者〕敬称略、五十音順

赤羽 トモ子	市川 和夫	碓井 徹	荻島 和美	神部 正博
小林 収	小堀 文彦	坂田 正哉	佐々木 和男	神久保 美津夫
竹内 崇夫	提 啓輔	氷室 美芳	藤本 英夫	星野 正博
牧林 功	松井 英子	松井 安俊	松沢 江美	山崎 正則
吉川 佳延	(以上2/名)			

〔開会の挨拶〕市川和夫 () 内は碓井による注

市川：今日は皆さん遠い所からお集まり頂きありがとうございました。会としては、昨年夏の川又での宿泊談話会以来、半年ぶりの集まりです。今日は、/人/話の他に4名の方から話題を提供して頂けることになっており、充実した談話会になりそうです。まず、会費の使われ方について少しお話ししておきますが、本会はいまだかつて会計報告というのを行ったことがありませんが、「寄せ蛾記」4号分で1000円という会費の集め方をしているので、本誌を/号作るのにいくらかかるか、という計算の詳細を明示して会計報告にかえたいと思います。(会場の後の黒板に本誌/号分の経費の計算が書かれていました。これは、本誌の「会報」のページに掲載しておきましたので、そちらをご覧ください。)

〔ノ人ノ話〕 文責・碓井 徹

- 市川：これから「寄せ蛾記」に蝶や他の昆虫の県内での分布を示す図を連載して行きたい。会の仕事として取り込みたいので、蝶なら蝶をやる人が中心になってどんどん計画を進めてほしい。新しい職場で1年が過ぎ、仕事にも慣れて今年は余裕が持てそうなので、昆虫の生態観察を中心にやって行きたい。
- 松井英：今年もヒメアカタテハの越冬を調べたい。冬期の寒さは毎年違うが、今冬も去年の冬と同様の越冬状況であった。最近、生態写真の持つ重要性を認識し始めた。
- 松井安：公害資源研究所に勤めており廃水浄化に関係した仕事をしている。ここのところ仕事が忙しく、あまり虫とのつきあいも多くはないが、仕事の内容が生物とは無縁でないのでぼちぼちとやって行きたい。
- 牧林：大宮の天沼に住んでおり、国鉄に勤めている。蝶の、特に蛹の形態による分類に手をつけている。
- 提：今年中学校を卒業した。これから蝶の生態観察を中心にやって行きたい。
- 神部：今年高校3年生。蝶をやっている。これからは、家に飛んで来る蛾なども採集してみたい。
- 小堀：桶川に住んでいる。昨夏、上尾でテングチョウを採集し、碓井氏と連絡をとってこの会の事を知り入会した。写真関係の仕事をしている。
- 氷室：虫とのつき合いは長いが、一時中断し、12、3年前から再開した。蝶に限らず、色々な昆虫を手がけて行きたい。
- 萩島：女子高に勤めている。春休みの最中だが、なにかと忙しい。蝶をぼちぼちとやっているが仕事に追われ、自宅付近で採集したり、時折、秩父方面でドライブがてらの採集をしている程度。
- 小林：この学校に勤めている。アオムシコマユバチを学生時代から手がけており、ツマグロキチョウやヤマトジミにも手を出した。ここ1、2年、蝶やカミキリを集め始めている。
- 梶野：川口市の高校に勤めている。こことしばらく虫とのつき合いから遠去かっていたが、2、3年前に八潮市の仕事を引き受けてから少々関わり合いが復活した。昨年、ルリタテハの幼虫を自宅の庭で発見し、周辺を探してみたら食痕も見つかった。浦和の三室の神社のサルトリイバラでは、多数の卵や小さな食痕を見つけたのだが幼虫が発見できなかった。その卵を採取して自宅で飼育したら順調に生育するので、野外で

の自然環境は幼虫にとってかなり厳しいものだ、という感想を持った。

竹内：昨年この会の時には飼育中のフジミドリの幼虫が行え不明になっている途中で出掛けて来たが、今日は白馬のホワイト・バンドの羽化の最中に家を出た。国内に限らず、外国産も好きで、昨年未にはパラワンに行ってきた。身近な所では安行のミドリシジミをここしばらく注意して見ている。

神久保：人間市に住んでおり、神田に勤め先がある。蝶を始めて9年ほどになる。自宅に近い狭山湖周辺の蝶を重点にしているが、早稲田大学の新キャンパス予定地がゼフの多産地にかかっており残念。現在、飼育中の岐阜産のギフと岩手産のヒメギフが羽化の最中で、これからしばらくの期間、飼育で忙しくなる。

坂田：秩父の東大演習林に勤務。奥秩父の蛾類を中心に調べている。

佐々木：坂田氏と同じ所に勤めている。山を歩く仕事が多いため、虫と関わり合う機会も多い。現在、ベート・トラップで歩行虫の調査を植生ごとに行っているが、今年からはマーキング法も導入したい。

吉川：大宮に住んでいる。蝶の採集が中心で、昨年は大石田のギフ・ヒメギフでスタートした。今年は小国から始めたい。

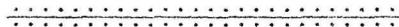
山崎：吉川氏とは採集仲間。2、3年前から飼育も始めて、現在ギフとヒメギフを飼育中。昨年の7月に奥武蔵の堂平山を訪れた際、北側斜面でウラミスジシジミらしき個体を目撃した。

松沢：山崎氏の紹介で入会した。秋ヶ瀬でオオムラサキの越冬幼虫を2頭採集し飼育中。

碓井：「寄せ蛾記」の編集や印刷を楽しんでいる。蝶を中心に採集しているが、カワトンボにも興味を持っている。蝶の方は、昨年は奥秩父の中津川を重点的に調べてまずまずの成果があがった。今年は吉田町や小鹿野など、秩父の北の方面を重点的にやりたい。

赤羽：午前中は上尾の公園で探鳥会があり、そちらに参加していて遅くなった。蝶に限らずあれこれ手を出している。

藤本：午前中は横浜まで標本箱を届けに行ってきた。新座で標本箱を作っている。



1人1話が以上のような具合でひとまわりした後、4名の方から次のようなテーマで話題の提供があった。

- ・松井 英子：浦和にもいたヒメアカタテハの越冬幼虫
- ・松井 安俊：ヒメアカタテハの移動を推理する
- ・小林 収：アオムシコマユバチの寄生調節
- ・牧林 功：蝶の蛹をめぐる話題

それぞれスライドや資料をご用意下さり、大いに興味深い話題を大変おもしろく説明して下さいました。質疑応答も活発になされ楽しい一時であった。

この後、去年の談話会から話に出ていた、会として月例の集まりを持つ、という計画についてしばらく意見交換があり、大宮かその周辺で金曜日の夜7時頃から9時頃まで場所を提供してくれる喫茶店が見つかったら、とりあえず近くの会員の方々に連絡をしてどのくらいの人が集まれるものか2、3度やってみよう、という事になった。この話がまとまった後は名自が自由に雑談をしたり、展示されていた市川氏のシャチホコガ科のコレクションや坂田氏の奥秩父の川又・大血川付近の蛾のコレクションをながめたりして5時過ぎまでワイワイやっていた。

最後に、市川氏より夏の宿泊談話会の予告と閉会の挨拶があり、参加者全員が藤本氏よりすばらしいお土産を頂いて散会したのだが、話し足りない人達は近所の喫茶店の一隅を占領して再び虫談義を始めていた。

XXXXXXXXXX

訂 正

XXXXXXXXXX

「寄せ蛾記」No.34 p. 319—p. 325

成田 佳紀：紅頭嶼の昆虫 の中で、

p.324 B. 採集半翅目 目録の

誤 *Menida musiva* JAKOVLEV ナナホシキンカメムシ
の学名を下記に訂正。

正 *Calliphara nobilis* LINNÉ ナナホシキンカメムシ

(成田 佳紀)

1930ensis Vol.2.

1972年 200-33 雑#5

寄 せ 蛾 記

第 3 6 号

1982年 6月 25日

埼玉昆虫談話会

定価 250 円